

海老名市立上星小学校 学校運営協議会 議事録
(令和4年度 第3回)

1 日時 令和5年2月3日(金) 10:00～

2 場所 海老名市立上星小学校 校長室

3 出席委員 委員長 栗山明郎、小島洋人、樋口るり子、仲村ひとみ、和田波代、五十嵐光

4 会議内容

(1) 挨拶

・学校運営協議会委員長(栗山明郎学校運営協議会委員長)

: 学校応援団のえびなっこスクールや通学路改善に向けて、地域が協力することができた。

3月には、1年生の「昔遊び」の授業に地域のみなさんが講師となる予定。

今後も無理のない範囲で、学校を支えていきたい。

・学校長(和田波代校長)

: ○コロナの感染、落ち着いた。よく遊び、よく学んでいる。ガイドラインが変わり、生活の仕方が次年度から大きく変わってくる。

⇒ (樋口委員) マスクをはずせない子も多いのではと心配。

○地域からのご意見をいただいていることについて

① エアコンの室外機の騒音について②

② 西門付近の駐車について

○6年生の卒業、進学について

○新1年生の入学、幼稚園・保育園との引継ぎについて

○今後のPTA組織・活動の改変について

⇒ (樋口委員) 周辺の学校の状況や、家庭の実態を鑑みて、先を見通して考えていかなければいけない。学校応援団の内容も形を考えていかなければいけない。他者同士、気にかけていくことは、これからも大事。活動しやすい内容を考えていく必要がある。

(小島委員) このPTAの目的とは。子どものためにやっていると実感できるような活動を考えていくことが大切。

○今年度は、市P連の事務局として活動した。

○今年度、バス遠足が復活。6年生は保護者を招いての学習発表を行う。6年生を送る会も実施予定。次年度はさらに学校行事が通常にもどる。コロナの経験を生かしながら、教育活動を充実させていく。

(2) 協議

①学校教育活動アンケートの結果について

○保護者から、たくさんの前向きなご回答をいただいた。

○ICTを活用した学習、引き続き発達段階に合わせた活用を行っていききたい。

○校内環境も本年度改善してきた。

○今後も学校だより等を通して、教育活動の様子を伝えていきたい。

⇒(栗山委員長)経年変化はどうなっているのか、学校同士で比較するとどうなのか、分析し、教育活動に生かしていくとよい。

⇒(小島委員)アンケートの結果をみると、学校というよりも家庭でのことに課題を感じている保護者が多いように感じられる。

②通学路の安全確保について

☆校区の地図を広げて見ながら、通学路について話し合った。

(栗山委員長)通学路について、PTAと自治会が協力し、市に要望し、改善を進めている。

(樋口委員)他の通学路についてはどのように改善を図っているのか。

⇒(五十嵐)年に一度、市に通学路要望を出している。今年度も何か所か改善していただいた。

(樋口委員)登校班の集合場所について、相談を受けることがある。状況に応じて、地域の保護者同士で話し合っ、改善するとよいと助言したが、学校でも相談に乗ってほしい。

(仲村委員)国分北では、線路を渡って集合場所まで保護者が連れてくる状況は続いているのか。

⇒(五十嵐)現在の学年構成では、線路の反対側で登校班をつくることができない。登校班の作り方には、今後も工夫が必要。来週の登校班編成会議でしっかりと話し合う。

(仲村委員)下校中、危険な歩行をしている児童もいるため、指導が必要。

③通学路の安全確保について

○今年度、たくさんのご支援をいただきました。次年度もよろしくお願いいたします。

(栗山委員長)前もって、話をいただくと協力しやすい。

地域が子どもたちに協力するのは当たり前。

活動を増やせばいいというものではないので、学校と相談しながら。

(樋口委員)学校応援団としても、教育課程内の支援もできたらと考えている。

○3月の1年生「昔遊び体験」について

④意見交換

(ヤングケアラーについて)

引き続き地域の中で気づいたら、声かけをしていきたい。

5 次回の予定

○令和5年度第1回 ・ ・ ・ 令和5年5月15日(月) 10時～ 校長室